

繋ぐ、伝える

弟子屈町の情報発信

(2~3ページ)

弟子屈 2021

今月のクリップ

- 冬を迎える前に..... 4
- 弟子屈観光塾を開催します..... 6
- 新しいALTが着任しました..... 8
- 冬期間の暖房費を助成します..... 12
- 第75号協力隊通信..... 26



第75号
協力隊通信
ベースラー
パスカルさん



日々の活動
発信中!

地域おこし協力隊
Instagram (インスタグラム)
#teshikagram



地域おこし協力隊
facebook (フェイスブック)
<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshi/>

私の家族の夢を実現する場所をつくるために

地域おこし協力隊のベースラー・パスカルです。エコツアー・パスマ活動支援員として活動しています。

2年目に入った隊員としての活動では、たくさんの方の経験し、多くの新しい友人や町民の方々に出会い、また知られていない新しい場所を発見することもできました。

弟子屈町での暮らしは私の生き方に合致していて、周りの人たちと一緒にいってとても幸せです。

そして今後、活動や定住するための、ずっと探していた土地を見つけたことができました。

そこは仁多交流センターの近くにあり、来春には、そこにLARP (Live action role playing game・参加者が決めた世界観の中でさまざまな体験をするイベント) を行える会場や、カフェスペースなどの建設を始めたかと思っています。

でもそこは、歩くこともできない一面ジャングルのような土地でした。これから建物を建てられるようにするためには、冬になる前に整備しなければなりません。仁多地区の皆さんの協力を得ながら、この土地の整備を進めてきましたが、皆さんの

協力なしにここまで作業はできませんでした。本当に感謝しています。

仁多から見た弟子屈の風景は、私と私の家族が夢を実現するための、静かで美しい場所だと思っています。新鮮な空気の中で作業するのはとても楽しいです。

今年も誰かが参加できるLARPイベントの開催を予定していましたが、緊急事態宣言になったことで中止となってしまいました。開催できない中でもLARPについて知っていただくため、YouTubeの「LARP Teshikaga」の中で、ルールなどを説明をしています。興味のある方はぜひご覧ください。

また、今年の冬は、「ドイツ式サウナ」イベントを試験的に行う予定です。今後、ヨーロッパの資格を取得して、サウナイベントにも活かしていきたいかと思っています。

さらに今後の起業に向け、来年2月頃からクラウドファンディングを行うことも計画しています。詳細が決まりましたら、あらためてお知らせします。これからは具体的に見える形で皆さんにイベントなどを提供していきたいと考えていますので、今後ともご支援・ご協力をよろしく願います!

寄附ありがとうございました

- 明治安田生命保険(相) 釧路支社 中標津営業所長兼知床出張所長 越原 英将 様
- ▼ ごみ袋 60枚
- 自然の番人宣言の協賛として 鎌田 ケイ子 様
- ▼ 現金 3万円
- 奨学金として活用してほしい。 故小館敏子遺言執行者 上枝 健一 様(中央2)
- ▼ 現金 5百39万2百円
- 亡小館敏子の遺言により、まちづくりに活用してほしい。 坪井 泰憲 様(奥春別原野)
- ▼ 現金 10万円
- 亡父(保)が生前町にお世話になったため、福祉医療に活用してほしい。 村岡 幸征 様(泉4)
- ▼ 現金 30万円
- 亡母(ユキ)が生前町にお世話になったため、福祉医療に活用してほしい。 □ (公社)釧路地方法人会弟子屈支部 支部長 近藤 明 様
- ▼ 教育図書 10万円相当分
- 小中学校で活用してほしい。 □ (株)北興商事弟子屈支店 代表取締役支店長 佐々木 忠昭 様
- ▼ 水栓用ワンタッチレバーロング 42個
- 新型コロナウイルス感染症対策として公共施設で活用してほしい。 □ ふるさと納税 6千294件
- ▼ 現金合計 1億177万5千円

人のつぎ 19月末現在

- 人口計 6,869人 (マイス1)
- 男 3,297人 (プラス1)
- 女 3,572人 (マイナス2)
- 世帯数 3,827世帯 (プラス7)
- お悔やみ申し上げます
- 江上 壽子さん(90歳)朝日1
- 岡崎 浩一さん(63歳)美里4
- 奥田 昭夫さん(86歳)中央2
- 小澤 芳久さん(101歳)字熊牛原野
- 鎌田 和之さん(72歳)高栄3
- 村岡 ユキさん(106歳)泉4
- 伊藤ミツ子さん(89歳)川湯温泉5

今月の表紙



10月6日に釧路川ふれあいひろばで行われたヤマメの放流のひとつコマ。子ども園まじゅうの園児が笑顔で放流しました。

編集後記

▼ 今月も町民の方に情報をご提供いただき、ご自宅になってるブドウを撮影させていただきました。想像以上に立派な木に大きな実がたくさんなっていて驚き、食べさせていただけるとその甘さに2度驚きました。数日後には町民農園でのブドウ収穫の取材へ行き(詳しくは本紙19ページで、ブドウと縁のある10月となりました。

毎月1回発行
発行/弟子屈町
編集/まちづくり政策課
☎ 482-2913 fax482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3-1

